

アップ クローズ 市政

議会

地域から要望があった道路整備などに1億円

地域に光を当てた予算成立

問い合わせ 総務課行政係 (☎ 8218)

2月定例市議会が2月26日から3月22日までの25日間の会期で開催され、閉会日に提出された議案1件を含む52議案が原案どおり可決などされました。



学校給食共同調理場予定地 (富原)

平成30年度一般会計当初予算の総額は、301億2000万円。総社小学校の建て替えや、学校給食共同調理場の新設、新認定こども園の整備などの大規模事業の影響から、過去最大の予算編成となりました。

主な事業は、地域から要望があった道路の整備などの費用を前年度比1億円増額、住宅新築助成金に2400万円、総社小学校改築事業に17億3161万円、新認定こども園施設整備事業に約6億905万円、健康インセンティブ事業に約2533万円などとなっています。大規模災害被災地支援に関する条例に基づく支援については、「職員の安全対策」として、市民サービスの低下を生じることがないよう措置を講じることとする付帯決議もなされました。

■総社トレイルラン実行委員会

総社トレイルラン in 高滝山大会を、12月2日(日)に開催。トレイルランニングの普及と振興を図り、市内北西部の活性化を目指す。

■新本享保義民奉賛会

義民四人衆の義挙から300年を迎えるにあたり、記念碑の建立、記念式典、義民祭の開催、フォトコンテストを実施。

■特定非営利活動法人 ほっとはあと

愛着形成・子どもの発達についての講演会やワークショップの開催。愛着形成不全による発達障がい症状をもつ子どもの減少と虐待の予防を目的とする。

■秦歴史遺産保存協議会

茶臼嶽古墳や秦原(廃)寺などの情報を発信するため、秦周辺吉備の国歴史めぐりツアーや、秦歴史遺産スタンプラリーなどを開催。

市民提案型事業採択団体決定

市民提案型事業に応募のあった14事業のうち、8事業が採択されました。採択団体は次のとおりです。
問い合わせ 人権・まちづくり課国際・交流推進係 (☎ 8242)

■池田地区 小道の駅プロジェクト委員会

地域住民の活性化などを目的として、昨年5月に小道の駅を開店。下屋を拡張して売り場面積を増やし、さらなる発展を目指す。

■特定非営利活動法人 心の扉

相談業務や、ひきこもりサポーターとして活動。全盲の歌姫、若渚さんによる音楽講演会の開催や趣味を見つかる体験ブースの設置。

■吉備路のまちを 元気にする会

市内を巡るサイクリングルートをPR。誘導看板の設置や、PR動画・パンフレットの作成、サイクリング体験会を開催。

■西郡地区の絆を 推進する会

「西郡の歴史とくらし」「絆塾ニュース」の刊行、ホームページでの情報発信のもと、歴史・文化の伝承と、安全安心の地域づくりを目的とする。



小児医療費の拡充

総社高校1年 赤木 華乃 (発言順位 11)

医療費の助成によって病院にかかりやすくすることで、病気の早期発見・早期治療や重症化の防止が期待できます。小児医療費の支給対象年齢を、高校卒業まで広げてはどうでしょうか。

市長 4月から中学生の医療費自己負担が3割から1割に軽減されますが、高校生までの無償化は予定していません。まずは、各家庭と市が支え合う仕組みづくりをしていきたいと考えています。



グローバルなまちづくり

総社南高校1年 岡本 美穂 (発言順位 12)

英語特区の取り組みを高校でも実施することは難しいのでしょうか。また、特区の学校に限らずグローバルなまちづくりを展開するため、高校生が協力して市内の小中学生に英語を教えるのはいかがでしょうか。

教育部長 青山学院大学の学生による昭和地区の子どもへの指導や、高校生がボランティアで参加するイングリッシュデイキャンプなどを現在行っていますが、今後もさまざまな取り組みを検討していきます。



総社商店街筋の活性化

総社高校1年 小野 雪乃 (発言順位 13)

貴重な建造物も残る総社商店街筋を風化させないため、「宮筋ものがたり」の知名度を上げたり、市民向けのイベントを継続的に開催したりするなど、市からの情報発信を含めて、もっと人を呼び込む工夫をしてはどうでしょうか。

産業部長 地域住民が中心となって企画している「宮筋ものがたり」や「あかりおひろい」を、魅力を再発見する機会として定着させ、その他の取り組みについても支援していきたいと考えています。



子育て王国そうじゃ

総社高校1年 川上 凌佑 (発言順位 8)

私たち高校生も、将来親になることを見据えて子育て支援に協力していきたいです。総社市が掲げる「子育て王国そうじゃ」とはどのようなものですか。また、その実現に向けての取り組みにはどのようなものがありますか。

市長 「子育て王国そうじゃ」は、子どもを最優先に考え、その幸せを追求していく取り組みです。子どもの人格形成に好影響を与え、一生を素晴らしいものにするためのさまざまな施策の実現を目指します。



外国人の雇用創出

倉敷翠松高校3年 山本 航大 (発言順位 9)

外国人人口が県内3位ですが、外国人から見ても魅力ある雇用の創出や、受け入れ態勢は整っていますか。リノベーションした空き家を店舗として外国人に貸し出し、カフェなどを経営してもらうのはどうでしょうか。

市長 多文化共生の成功事例となるべく、外国人のコミュニティ参加や日本語教育などに取り組んでいます。店舗ができて日本人も集う場にならないと利益がないので、共生のムードづくりを進めていきます。



交通事故防止について

総社南高校2年 田中 康貴 (発言順位 10)

交通事故の防止のため、危険箇所についてのアンケートをとったり、子どもから高齢者まで安心して暮らせるよう、総社駅東地区の「あんしん歩行エリア」のような場所を増やしてはいかがでしょうか。

建設部長 危険な場所があれば、対策をとっていくことは大切です。平成27年度から、「ゾーン30」と題した学校の周りの危険箇所の速度規制などに取り組んでいます。今後も警察と連携して進めていきます。

※学年は、3月23日時点のものです。